

特養ホームで 合同火災訓練

戸田市消防署

戸田市消防署は17日、戸田中央医科グループの特別養護老人ホーム「とだ優和の杜」(同市新曽南)で、合同火災想定訓練を実施した。

訓練には同施設職員や消防隊員40人のほか、戸田市の危

合同火災想定訓練で行われた負傷者搬送訓練。17日、戸田市新曽南の「とだ優和の杜」



機管理防災課や長寿介護課の職員も参加した。施設職員は、火災発生時に自力での避難が難しい入所者を誘導する手順などを確認。消防隊員は、初動活動や救出活動、応急救護の方法を確かめた。

星裕一施設長は「高齢者を預かる施設では、安心安全に暮らせることが第一。いざというときに迅速に行動できるように、訓練を重ねていきたい」と引き締める。同消防署消防第2課の佐藤堅次課長は「高齢者の多い福祉施設では自力避難困難者も多いので、避難誘導などについて確認した」と話していた。